

## いのちと暮らしの緊急ホットラインに245件

新型コロナウイルス感染症の影響による災害からいのちや暮らしを守ろうと、「いのちと暮らしを守る何でも相談会」（全国いっせい無料電話相談）のホットラインが18、19日の二日間にわたって行われ、北九州市では健和会複合施設で北九州社保協や市内民商、弁護士、地区労連、生健会などの団体が参加しました。1日目は119件、2日目は126件計245件の相談が寄せられました。全国共通の取り組みとあって受話器を置くとたびに鹿児島や沖縄などの遠方からも切実な相談が相次ぎ相談員が丁寧に親切に対応しました。小倉民商からは岩下会長が18、19の両日、森事務局長が19日に参加して対応しました。



# 人通りも半減!売上激減!支援策もっと早く!きびしい声次々!



巨過市場の店主と対話する大石元市議と岩下民商会長

小倉民商の岩下会長、森事務局長と日本共産党大石元市議員は二二日、新型コロナウイルス感染症による市場調査を行うため北九州市の台所ともいわれている巨過市場を訪問し三四件と対話しました。人通りも少なくなる中、鮮魚店や青果店などは一般のお客の減少と併せ、得意先である飲食店などの休業により軒並み売り上

げを激減させていることがわかりました。「売上は五割どころか十分の一に減った。首をくくらないかん」（鮮魚）「家賃も払えなくなってきたので交渉しているが下げてくれない。休業要請の対象でないから市の家賃保証も受けられない」（青果）「三割から七割減。ひどい。家賃の十万円が払えない。給付金はいいがパソコンがないので入力できないのでどうしたらいいのかわからない」（精肉）「需要のあるマスクや消毒薬の入荷がない。売れる商品がないので売上が激減した。特別融資の申し込みをしたが借入金が残が残っているので借りれるのかどうか不安だ」（薬局）「国は自粛要請とお願いながら補助がないのはおかしい。要請に応じない店を名指しするなど許せない」（鯨肉）「本当は私たちの店売りも感染リスクは高いと思っている。不安だがスーパーみたいなビニールを垂らすわけにはいかないし必需品なので私たちが頑張らないとお客さんも困ると思つて店を続けている」（惣菜）「八女市が事業者に一律十万円の補助

コロナ対策の市場調査と巨過市場と軒並み売り上げ激減



第1215号

2020年4月27日  
◎発行  
ニュース編集  
委員会  
電話921-6981

## 相変わらず民商へ

新型コロナウイルスの影響で営業継続が困難になっています。コロナウイルス対策の支援策や各種助成金、税金や国保料などの支払い猶予などあらゆる制度を活用しましょう。まずは民商にご相談ください。  
※制度の手続きなど詳細が未定のものもあります。

## GWの木倉官のお知らせ

4月29日(水) 5月1日(金)～6日(水)

## 労働保険 年度更新のお知らせ



労働保険（労災・雇用）の令和2年度の更新手続きを下記の日程で行います。必要書類等を持参のうえ必ず来所下さい。

☆5月7日(木)～8日(金)、11日(月)～15日(金)

☆時間は10時～12時、1時～3時、6時～7時30分

☆会場 民商会館

☆新型コロナウイルス感染防止のため、予め来所の日程を決めています。日程、持参するものは別途案内ハガキで必ず確認してください。

④この日に参加できない場合は必ず連絡ください。何の連絡もない場合は更新しないものとして、委託解除の手続きを取りますのでご注意ください。

を決めた。北九州市も事業者支援を強めてほしい。家賃補助も決まったが福岡市が決めてから決まった。国も市も何でもすることが遅い。もっと早く決めてほしい」などの切実な声が次々上がりました。岩下会長は、無利子・無担保融資や持続化給付金など活用できる制度を紹介し、ぜひ頑張つて乗り越えていきましよう」と激励しました。

